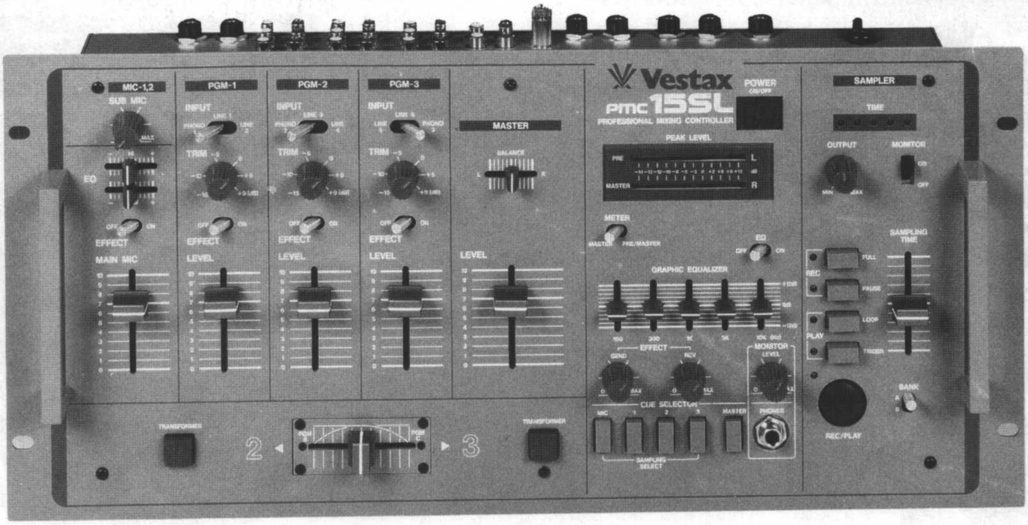
Vestax®

Professional Mixing Controller

PMC-15SL

取扱説明書



VESTAX CORP.
2-37-1 Kamiuma, Setagaya-ku, Tokyo 154
Phone : 03-3412-7011 Fax : 03-3412-7013
VESTAX MUSICAL ELECTRONICS CORP.
2860 Cordelia Rd. Suite 120 Fairfield, CA 94585 U.S.A.
Phone : 707-427-1920 Fax : 707-427-2023
VESTAX (Europe) Ltd.,
19 Haslemere Road, Fernhurst, Haslemere, Surrey GU 27 3EA England.
Phone : 0428-653117 Fax : 0428-61021

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-15をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂けますようお願い致します。

PMC-15SLの特徴

＊PMC-15SLは、欧米でもベストセラーのPMC-15の機能そのままに、10秒2バンクのサンプラーを内蔵したスーパーモデルDJミキサーです。

＊PLAY／RECとも同一のボタンで操作でき、スタート／ストップのタイミングも決められるので、任意の長さでのサンプリングタイム設定が可能です。

＊MIC×2系統、LINE×6系統、PHONO×3系統、計11系統入力の多入力。ターンテーブル、カセットデッキ、CDプレイヤー、LDプレイヤー等、現在の多様化する入力ソースに完全に対応します。

＊各PGMチャンネルにトリムボリュームを装備。レコード、テープ、CD等の異なるソース再生レベルの補正をすばやく正確に操作出来ます。

＊MICチャンネルはMAIN MIC、SUB MICの2系統をコントロールでき、HI、LOW、2 BANDのEQにより、LOW PASS、HI PASS、等の音質補正が行えます。

＊各チャンネルにエフェクトセンドスイッチを装備。2 IN−2 OUTステレオのセンド／レシーブでディジタルディレイ、リバーブ等多彩なエフェクトテクニックを駆使できます。

＊ベスタクスオリジナルのトランスフォーマースイッチは、トランスフォーマースクラッチを容易にしました。

＊長年の経験とデータにより作られたクロスフェーダーは、過酷なスクラッチにも耐える耐久度とカーブを持っています。もちろん今や世界中のミキサーメーカーが採用しているV.D.C.(ベスタクス・デタッチャブル・クロスフェーダーシステム)によりメンテナンスも容易です。

SPECIFICATIONS

入力レベル／インピーダンス	
MIC	−42dBV／3.3 KΩ
LINE	−10dBV／56 KΩ
PHONO	−42dBV／50 KΩ
(RIAAイコライザー補正)	
EFFECT RTN	−10dBV／62 KΩ
出力レベル／最適インピーダンス	
LINE OUT	0 dBV／10 KΩ以上
EFFECT SEND	−10dBV／10 KΩ以上
CUE OUT	−10dBV／10 KΩ以上
REC OUT	0 dBV／10 KΩ以上
周波数特性	30Hz〜20KHz ±3dB
S/N 比 LINE〜OUTPUT	80dB以上(JIS-A WTD)
カット オフ レベル	−60dB以上
外形寸法(W×H×D㎜)	482×82×222
重量	3.5 kg

アフター・サービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理致します。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または当社サービスにご相談下さい。
   保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

安全上のご注意

●本機は交流(AC)電源100V専用ですので直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用することはできません。なお、電源周波数(50Hzまたは60Hz)の調整は不要です。

●電源アダプターをコンセントから抜くときは必ずアダプターを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。

●水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。

●ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびピン等の金属類をいれないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。

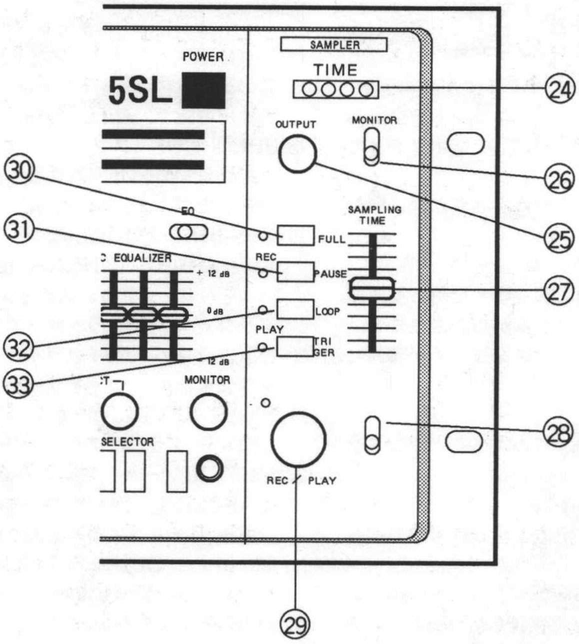
●本機外装カバーを取はずして内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、当社はその責任を負いません。

設置上のご注意

常温(5〜35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面を拭かないで下さい。塗装がはげることがあります。

ご注意

PMC-15SLの本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダー等をパーツの耐久力を超えた苛酷な使い方、例えばスクラッチなどでお使いになると、通常パーツの耐久時間として保証されている時間(1年)以上を1ヵ月の内にお使いになられることがあります。その場合の交換につきましては、弊社の判断により実費を請求させて頂きます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合には、お買上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。



[サンプラー部]

24. TIME LED
サンプリング又は、サンプリングされた音が再生する時に、順次点滅します。また、RECモード、PAUSEセレクト時、サンプリングする際のタイミングを計る目安にして下さい。

25. OUT PUT
サンプラーの再生音量を調整するボリュームです。

26. MONITOR
サンプラーの再生音をヘッドフォンでモニターする時に使用します。このスイッチをONにすると、アウトプットボリューム（26）をMINにセットした状態でもモニター可能となります。外部に音を出さずにサンプリング音を確認することができます。MONITOR ONの時は、ヘッドフォンのLチャンネルはサンプラーの再生音のみモニター可能となり、モニターセレクトスイッチ（15）で選択した音は聞こえなくなりますので、ご注意下さい。

27. SAMPLING TIME
サンプリングタイムの調整を行うボリュームです。フェーダーが手前の位置でサンプリングタイム最長となります。

28. BANK
サンプリング、又は再生するバンクを選択するスイッチです。各バンクのサンプリングタイムは、最後にサンプリングした時間と連動しますので、ご注意下さい。

29. REC／Play SWITCH, INDCATOR
RECモードの時には、RECスタート、ストップ（ポーズ）スイッチとなり、REC時にLEDが点灯します。Playモード時には、Playスタート、ストップ、スイッチとなり、Play時にLEDが点灯します。

30. 31. 32. 33 SAMPLING MODE SELECT SWITCH, INDICATOR
サンプリングモードを選択するスイッチです。

30. FULL
設定したバンクの長さいっぱいまで、曲の一つのパートをサンプリングするモードです。(29)REC／Play SWを1PUSH目でRECスタート、2PUSH目でRECストップとなります。2 PUSH目を押さない場合はバンクのメモリーが全ていっぱいになった時点で自動的にサンプリングは終了します。サンプリングしている間、TIME LEDが点灯します。

31. PAUSE
設定したバンクの長さいっぱいまで、曲の複数のパートをサンプリングするモードです。(29)REC／Playスイッチを1PUSH目でスタート、2 PUSH目でRECポーズ、3PUSH目で再びRECスタートとなり、バンクのメモリーが全ていっぱいになった時点でサンプリングは終了します。サンプリングをしている間、TIME LEDが点灯します。

Playモード

32. LOOP
(29)REC／Playスイッチを押すと、設定したバンクのサンプリングされた音が繰り返し再生するモードです。

33. TRIGER
(29)REC／Playスイッチを押している時のみ設定したバンクのサンプリングされた音が再生され、押し続けると繰り返し再生されます。一度スイッチを離すと再生は中断され、再度押した時はサンプリングされた内容の頭から再生を開始します。

9. CROSSFADER(クロスフェーダー)
PGM 2と PGM 3の入力ソースをセンターでミックスします。クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになったり、20㎜フェーダー（CF-15S）やダイヤルユニット(DF-1)をご使用の際はクロスフェーダーユニットを交換して下さい。ユニットの取付ネジ(4本)と内部のコネクターで簡単に交換できます。
NOTE: クロスフェーダーユニットを交換する際には、取付方向を良くご確認下さい。

10 TRNSFORMER SWITCH（トランスフォーマーSW）
クロスフェーダーを左側、又は右側に振り切った時、反対側のスイッチを押した時だけそのプログラムが出力されます。このスイッチによりトランスフォーマースクラッチが容易に行えます。

11. BALANCE(バランス)
LINE OUT出力のLチャンネル、Rチャンネルのバランスを設定します。

12. MASTER LEVEL(マスターレベル)
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。

13. EFFECT SEND(エフェクト出力調整ノブ)
リアパネルのEFFECT SEND端子と接続した外部エフェクターの送る信号のレベルを調整します。クロスフェーダー使用時はクロスフェーダー後から信号を取り出しマスターフェーダーの前に戻していますので、クロスフェーダーを使ったカットアウトにエコーをかける等、様々なテクニックが使えます。

14. EFFECT RCV(エフェクト入力調整ノブ)
リアパネルのEFFECT RCV端子と接続した外部エフェクターから入力する信号のレベルを調整します。

15. CUE SELECTOR／SAMPLING SELECT
1~3のプログラム、マイクチャンネルのキュー・モニター選択スイッチです。各ボタンを選択するとヘッドフォンの左側から選択したプログラム内容が、右側からは現在出力されている内容が同時にモニターできるため、曲の頭出しが簡単にできます。又、内蔵のサンプラーにサンプリングする時は、このスイッチでサンプリングするチャンネルを選び、信号をサンプラー回路に送ります。⑱SPLITCUEをOFFにすると、モニターセレクトスイッチで選択したプログラムの入力信号を両耳で確認できます。このスイッチが押されていないとサンプリングできませんのでご注意下さい。

16. LEVEL(ヘッドフォン・ボリューム)
ヘッドフォンのモニターレベルの調整用ノブです。

17. PHONES(ヘッドフォン端子)
このジャックにヘットフォンを接続して下さい。8~600Ωまで使用可能で、適正は150Ωです。

18. SPLIT CUE（スプリット キュー　スイッチ）
このスイッチをOFFにすると、モニターセレクトスイッチで選択したプログラムの入力信号を両耳で確認出来ます。

19. GRAPHIC EQUALIZER(グラフィック・イコライザー)
100Hz, 300Hz, 1KHz, 3KHz, 10KHzの各周波数帯域のレベルをLチャンネル、Rチャンネル同時にコントロールするグラフィック・イコライザーです。

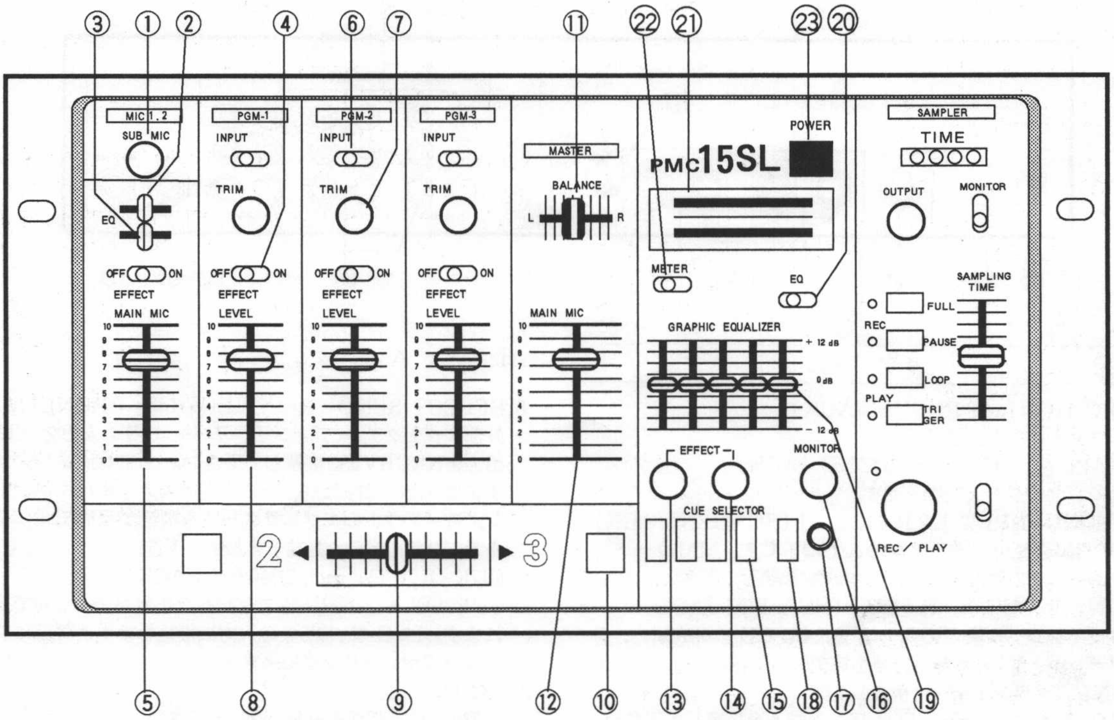
20. EQ(グラフィック・イコライザーON／OFFスイッチ)
グラフィック・イコライザーのON／OFFスイッチです。

21. PEAK LEVEL(ピークレベルメーター)
LEDバーグラフにより、L, Rの出力ピークを表示します。

22. METER(メーター切換スイッチ)
MASTER側に倒すとメーターはLINE OUT出力のLチャンネル、Rチャンネル各出力信号を表示し、PRE／MASTER側に倒すと ⑮CUE SELCTION SWで選択したPGMの各入力レベルを表示します。

23. POWER(電源スイッチ)

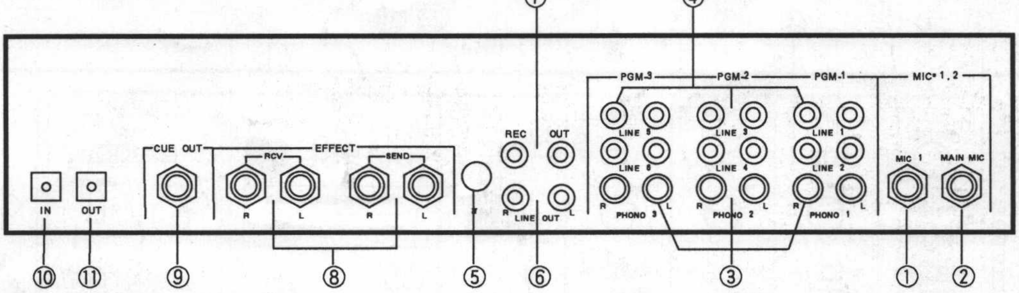
各部の名称と機能



[ミキサー部]

フロントパネル

1. SUB MIC(サブマイク用入力調整ノブ)
   リアパネルにあるMIC 1 JACKに接続されたサブマイクの入力レベルを調整します。
2. EQ-HI(イコライザー•ハイ)
   高音補正用ノブです。10KHz以上を12dBブースト又は、カットできます。
3. EQ-LO(イコライザー•ロー)
   低音補正用ノブです。100Hz以下を12dBブースト又は、カットできます。
4. EFFECT SW(エフェクトスイッチ)
   エフェクト•センド/リターン端子に接続した外部エフェクターに信号を送るときにご使用下さい。
5. MAIN MIC(メインマイク入力フェーダー)
   リアパネルにあるMAIN MIC JACKに接続されたメインマイクの入力レベルを調整します。
6. INPUT(入力ソース選択スイッチ)
   各PGMに、どの入力を立ち上げるかを選択するスイッチです。プログラム毎に、リアパネルに接続された3つのステレオ入力ソースの中から選択できます。
   プログラムは次のようになっています。
   PGM-1……PHONO 1, LINE 1, LINE 2
   PGM-2……PHONO 2, LINE 3, LINE 4
   PGM-3……PHONO 3, LINE 5, LINE 6
   PHONO入力には、RIAAイコライザーがはいっています。
   LINE入力には、CDプレイヤー、TAPE DECKの出力を接続して下さい。
   NOTE: PHONO入力には、MMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続して下さい。MCタイプのカートリッジをご使用になるときには、ヘッドアンプが必要となります。
7. TRIM(トリム•ボリューム)
   各チャンネルの入力レベルを調整します。インプットフェーダーとマスターフェーダーを7~8の位置にセットしてマスターフェーダーLEDレベルメーターの+5dBが時々点灯する位置にセットして下さい。
8. LEVEL(チャンネル•レベル•フェーダー)
   各チャンネルのインプットフェーダーです。通常7~8の位置でお使い下さい。



リアパネル

1. MIC 1 (¼ inch PHONE JACK)
   サブマイクの入力端子です。
2. MAIN MIC (¼ inch PHONE JACK)
   メインマイクの入力端子です。
3. PHONO INPUT L／R [1, 2, 3] (RCA PIN JACK)
   各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。
4. LINE INPUT L／R [1~6] (RCA PIN JACK)
   各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、VTR音声出力等を接続して下さい。
5. GND (グランドターミナル)
   各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい。
6. LINE OUT L／R (¼ inch PHONE JACK)
   マスター出力です。パワーアンプの入力に接続して下さい。
7. REC OUT
   録音用の出力です。外部のテープデッキの入力端子を接続して下さい。また、サブ出力としてメイン出力とは別に出力が必要な際にもお使い下さい。なお、この端子から出力される音にはマスターボリュームは効きません。
8. EFFECT SEND／RECEVE(¼ inch PHONE JACK)
   外部エフェクター(ディレイ、リバーブ)等の入力をSENDに、出力をRECEVEに接続して下さい。ステレオイン／ステレオアウトだけではなく、モノイン／ステレオアウト、モノイン／モノアウトのエフェクターにも接続が可能です。モノラルでご使用の際は、L端子をお使い下さい。
9. CUE OUT (¼ inch PHONE JACK)
   CUE SELECTOR SWで選択した信号がモノラルで出力されます。DSG-05、300等の入力に接続しますと外部に音を出さないでサンプリングできます。
10. DC IN
    付属のACアダプターをつないで下さい。
11. DC OUT
    DC INの出力です。300mA以内でご使用下さい。